



過度なアルコール摂取は肝炎や肝硬変の代表的な発病原因です。

しかし、お酒が障害を引き起こすのは、肝臓だけではなく、消化器、神経、筋肉、循環器など、影響のある臓器は全身におよびます。

また、飲酒は生活習慣病（食生活・運動習慣・休養・喫煙・飲食などが病気の発症・進行に関与する疾患）にも深く関与し、高血圧、高脂血症、糖尿病、痛風をはじめ様々な病気を引き起こします。

そして、食道がんや喉頭がんなどの発症と深く関係する発がん物質の一つでもあります。

- 1) 様々なアルコール関連疾患
- 2) 肝硬変は断酒すると治る??
- 3) 断酒したら毎年がん検診を受けましょう
- 4) 禁煙は断酒にも良い?
- 5) 断酒はボケ防止!